

LIFE in

Minamiuonuma city life style Magazine.

南魚沼だから
できること。

There are things you can do
because it is minamiuonuma city.

vol.15

2021 / Winter

新潟県南魚沼市ブランド化促進
ライフスタイルマガジン



www.life-in.jp



真心の一本

www.life-in.jp

vol.15
2021 / Winter





厳しくもあたたかく
厳かで美しい
雪国の恵あふれる南魚沼

南魚沼市大月

LIFE in

Minamiuonuma city life style Magazine.

南魚沼だから
できること。

There are things you can do
because it is minamiuonuma City.

vol.15
2021 / Winter

新潟県南魚沼市で
地域資源や特産品など雪国の魅力を
活かし活躍する人々を紹介する
南魚沼市ブランド化促進ライフスタイルマガジン
『LIFE in 〜ライフイン〜』

CONTENTS

- 04 南魚沼が担う 日本への心
山本 正和さん
- 10 南魚沼でテレワーク
小杉 永愛さん
- 16 南魚沼で新たな事業に挑戦
木村 真悟さん 井口 陸弥さん
- 20 読者アンケート
- 21 南魚沼市概要・歳時記
- 22 これから南魚沼市への定住を考えている方へ
南魚沼市の取り組み

www.life-in.jp





山本 正和さん

Masakazu Yamamoto / 44歳

株式会社 竹治郎 代表取締役社長

南魚沼市出身。市内高校卒業後、建設業に従事。現在は(株)竹治郎を営む。南魚沼の風土を活かした稲葉の栽培、〆縄商品の開発・販売を行っている。

南魚沼の豊かな自然が デザインの源

JR六日町駅から車で10分。田園風景が広がる南魚沼市大月に(株)竹治郎はある。日本のお正月には欠かせない〆縄を製造する会社で国産〆縄ではシェアNo.1を誇っている。

現社長である山本正和さんは市内の高校を卒業後、現会長である父から会社を受け継いだ。近年、南魚沼では事業の後継者が見つからず、廃業を余儀なくされるというケースをよく耳にするが、(株)竹治郎はこの問題とは無縁だったようだ。

国産〆縄シェアNo.1を誇る商品デザインには南魚沼の自然豊かな風土が大きく影響している。

「毎日1時間程度、趣味でランニングをしています。商品のデザインや色彩は、ランニング中に眺める景観の中から着想を得ることが多いです。同じコースを走っていても、春には緑色の田んぼが秋になり稲が穂をつけ黄金色に変化していくように、季節によって景観が全く異なります。このような景

色の変化が新しいアイデアを生むヒントになります。」と山本さんは語る。

南魚沼の自然豊かな景観は首都圏では味わえない、贅沢な癒しの時間と新しい商品のアイデアをもたらしているようだ。

東京ドーム約35個分の 面積で国産籾を栽培

〆縄の多くは食用米として収穫された後の稲葉を使って作ることが多いという。しかし(株)竹治郎では食用米ではなく穂を付ける前に刈り取る〆縄に使用するための稲葉を東京ドーム約35個分(13884㎡)という広大な面積の田んぼで栽培している。

南魚沼といえば言わずと知れたブランド米南魚沼産コシヒカリをイメージするが、コシヒカリでは原料となる稲葉の背丈が足りず、〆縄には適さない。そのため(株)竹治郎では伊勢錦、赤福といった品種の稲を〆縄用の稲葉として栽培している。

「〆縄用に栽培する稲葉は青々とし



た葉の色を維持するために肥料を撒く回数が多い上、病気にもなりやすく大変デリケートです。毎日田んぼに足を運んで日々生育状態が変化していく中、最高の葉ができるように管理しています。食用米より〆縄用の稲の栽培の方が簡単だと思われがちですが、むしろ食用米以上に気を遣います。」と山本さんは語る。

南魚沼から生まれたシェアNo.1

Introduction
of the life style
2021
Winter

南魚沼が担う日本の心

日本のお正月には欠かせない〆縄。国産〆縄ではシェアNo.1を誇る会社が南魚沼市大月にある。(株)竹治郎だ。今回は(株)竹治郎の山本正和さんに南魚沼の風土を活かした〆縄作りについて伺った。





歳神様は藁に宿る

「〆縄は門松とおもにお正月になると各家庭に飾る縁起物だが、意外なことに海外製のものも多い。国産〆縄ではシェアNo.1を誇る（株）竹治郎だが、日本国内で消費される〆縄全体で見ると海外製のシェアには劣るという。山本さんの次なる目標は国産〆縄の需要拡大だ。

「コロナ禍の影響もあり、国産〆縄の需要も高まりつつあります。」という山本さん。大量生産大量消費の現代に多くの手間をかけ、一本一本手作業で〆縄を作ることの意義を伺った。

「古くから日本では多くの人が農業を生業にして生活してきました。〆縄は穀物が実り、生活が豊かになることを願った人々が初日の出とともに現れる五穀豊穡をつかさどる歳神様という神様を家に迎え入れる目印として飾ったと今に伝わります。現在では海外製の〆縄を飾る家庭も多いと思いますが、〆縄を飾るという文化は日本の長い歴史の中で培ってきた日本ならではのものです。歳神様は日本の〆縄（藁）に宿ると伝えられています。なので、ぜひ日本のお正月には国産の〆縄、ひいては南魚沼で作られた〆縄を飾って欲しいという思いで日々製作に動んでいます。」と山本さんは語る。



稲が青いうちに刈り取る『青刈り』

稲藁を収穫するにあたり最も重要なのが刈り取るタイミングだ。まだ稲が青いうちに刈り取るという。

「一般的に食用米は毎年、9月〜10月にかけて稲刈りをしますが、〆縄用の稲は、7月下旬から8月末に刈り取ります。1年で最も暑い時期に稲を刈らなければならないので、サウナの中で作業をしているようでとてもつらいですが、この時期に刈った稲は短時間で乾燥させることで、色が褪せにくく、芳醇な香りが詰まった藁となります。」

山本さん曰く、同じ稲藁の栽培であっても、南魚沼で栽培した稲藁はこの風土ならではの色と香りと長さになるという。南魚沼の自然環境を熟知し、知識に裏付けされたこだわりがあるからこそできる栽培方法だ。

こうして栽培された稲藁を使って職人が心を込めて一本一本手作業で〆縄を作る。そして色とりどりの〆縄商品として出荷されていく。

「〆縄はその年の五穀豊穡と無病息災を願う飾り物です。当社の商品を飾っていただく皆様の願いが叶うよう、感謝の気持ちを込めて作っています。」と山本さん。南魚沼だからこそ作れる〆縄はこのような多くのこだわりの経てお正月を待つ人々のもとに届くのである。

私のお昼ご飯

My Lunch

家族と囲む憩いの時間

会社の向かいにある自宅で、毎日昼食をとる山本さん。一緒に働く家族と食卓を囲みながらリラックスした表情を浮かべ午後への英気を養う。自家栽培のコシヒカリと野菜を使った料理の数々が食卓を彩り、調理師免許を持つ奥様の愛情が家族を支える。



現在、(株) 竹治郎のべ縄の購入者の多くは60代〜70代の人を中心だという。また働く職人の高齢化も進んでいる。

「このままではべ縄を飾るという文化自体が衰退してしまうのではないかと危惧しています。」と語る山本さん。そこで新たなチャレンジを考えているという。

「まず若者にべ縄を飾るという文化、職人が一本一本手作りで作っているということを知らってもらう必要があると考えています。そのために現在、工場のオープンファクトリー化を考えています。」

オープンファクトリーとは職人が商品を作りだしていく現場を公開し、来場者に体験してもらうという取り組みだ。普段見ることの出来ないものづくりの現場は魅力的でエンターテインメントの一つとなるため、近年取り組み企業も増えてきている。

「実際にべ縄を作る現場を見てもらい、ものづくりの現場を体験してもら

株式会社 竹治郎

●949-6682 新潟県南魚沼市大月 611-1
●TEL / 025-772-7608
●HP / <http://www.takejirou.jp/>



伝統文化を次の時代に

うことで、(株) 竹治郎が作るべ縄の魅力やべ縄を作る職人のかっこよさを多くの若者に知ってもらいたいのです。ゆくゆくはそこで体験した若者が職人となってべ縄という日本の伝統文化の継承者になってもらえたらと思いますし、南魚沼に新たな雇用を生むことが出来ればと思っています。」



海外へ 【南魚沼ブランド】の発信

(株) 竹治郎で作られているべ縄商品は南魚沼で栽培している稲藁はもちろん、装飾に使われる水引、友禅紙にいたるまで国産の物を使っている。べ縄を飾るという日本の伝統文化を守りたいという想い、南魚沼で作られたべ縄で新たな年の始まりを祝ってもらいたいという想いが伝わってくる。

そんな熱い想いを持つ山本さんはお正月にべ縄を飾るという日本の伝統文化と南魚沼産のべ縄を海外へ発信していきたいと考えている。

「以前取引先の企業様がフランスの高級ホテルにべ縄を紹介した時は、大変好評で海外の方々も興味を示していたそうです。」

現在はコロナ禍で海外に向けた発信は難しい状況ではあるが、

「今後も日本の伝統文化の発信と南魚沼の自然と人の手が育んだ最高のべ縄を【南魚沼ブランド】として海外に発信していきたいです。」と山本さん。近い将来、(株) 竹治郎が作るべ縄は南魚沼産コシヒカリ同様、南魚沼が日本、そして世界に誇るものとなっていくそうだ。



小杉 永愛さん

Toai Kosugi / 28歳

(株)CIVIC PRIDE
マーケティングコンサルタント

南魚沼市出身。市内高校卒業後、関西の大学に進学。首都圏や新潟市での生活を経て南魚沼にUターン。南魚沼でテレワークを実践している。

テレワークの普及により 南魚沼へのUターンを決意

小杉さんが南魚沼にUターンしたのは令和2年。高校卒業以来約10年ぶりの南魚沼暮らしだ。地元の高卒卒業後、関西の大学に進学。大学時代にはフロリダ大学への交換留学も経験した。大学卒業後は都内で観光業界に就職し、ツアーの企画や添乗員業務を数多く担当。平成30年には地元である南魚沼の観光をさらに活性化させたいという思いから、インターネット関連サービスを中心に展開する大手企業に転職。新潟支社にて新潟県、群馬県エリアのコンサルタント営業に従事した。

勤務地は新潟市であり、そこで一人暮らしをしていたが、新型コロナウイルスの影響を受け、会社がテレワークを本格的に導入した。このことが南魚沼へのUターンのきっかけとなった。「コロナ禍によりテレワークが始まった直後は新潟市の自宅で仕事をしていた。しかし、会社に行くのが月に数回であれば新潟市で生活し続ける必要はない。地元の南魚沼でも十分仕

事ができると思い、Uターンを決意しました。」と小杉さん。
現在は退社し、これまでの経験を活かすとともに更なるスキルアップのため、山梨県に本社を置く(株)CIVIC PRIDEに転職。マーケティングコンサルタントとして人材スカウト事業、入社後活躍支援事業、ホテル・観光マーケティング事業に従事している。

働く環境を変えることで 新しい発想が生まれる

(株)CIVIC PRIDEの本社は山梨県だが、月に1回の本社でのミーティング以外、全社員がテレワークで勤務している。社員は新潟、東京、群馬、山梨などそれぞれが好きな場所で仕事をしているという。前職の時からコロナ禍の影響もあり、テレワークは経験済みだったため、不安はなく、むしろテレワークという働き方が好きだという小杉さん。

「自分の好きな場所、ライフスタイルに合わせて働けるということがテレ



ワークの良いところです。天気の良い日は自宅の庭先で仕事をしたり、市内にはコワーキングスペースもあるので、そこを利用したり、気分転換をしながらか仕事をしています。旅行、宿泊といった観光に関するマーケティングが業務のため、ワーケーション(「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語。観光地、リゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇を取る過ごし方。)という働き方も試しています。企画やマーケティングには柔軟な発想やアイデアが重要なので、決まった時間、決まった場所でするより

新しい働き方で見える南魚沼の魅力



Introduction
of the life style
2021
Winter

南魚沼で テレワーク

新型コロナウイルスの感染拡大により、テレワークという働き方が注目を集めた。南魚沼出身の小杉永愛さんは首都圏や新潟市での生活を経て南魚沼にUターンし、テレワークという働き方を実践している。今回は南魚沼でテレワークをする魅力、その可能性を伺った。



私のお昼ご飯

My Lunch

自宅外で働く時はランチが楽しみ

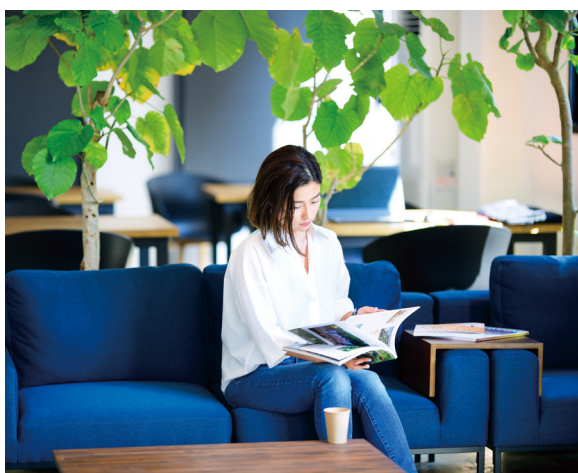
「美味しいものを食べることが大好きで、よく市内の飲食店を巡っています。南魚沼には美味しい食材やお店がたくさんあるので魅力的ですね。」この日のランチは grill and wine じゅーのロコモコ丼をテイクアウト。ランチを楽しむもコワーキングスペースを利用する理由の一つと言う。「美味しいものを食べて気分転換。午後からの仕事も頑張ります！」



grill and wine じゅー

肉とワインがコンセプトのお店。こだわりの調理方法で様々な肉料理を提供している。

- 〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町 87-10
- TEL / 025-788-1229
- 定休日 / 不定休
- HP / <https://grillandwine10.gorp.jp/>



OFFICE 9bt オフィス ナインビーティー

久保田不動産ビル(株)が運営するレンタルオフィス & コワーキングスペース。細部までこだわり、利用者にとって居心地の良い空間になっている。



- 949-6680 新潟県南魚沼市六日町 479 久保田ビル 1F
- TEL / 025-772-2116 ●HP / <https://Kubota-real.com/>

南魚沼での
テレワークの魅力

テレワークが浸透し、会社に行かない働き方をすることにより、職場での人間関係が希薄になるところが心配されるが実際どうなのだろうか。

小杉さんの場合、今の会社に就職し

た時点でテレワークでの勤務だったため、社員同士の人間関係に変化はなかったという。業務連絡はチャットで行い、会議などもオンラインを利用して行う。業務を行う上では不便はない。だからこそ、月に1回の山梨県でのミーティングを大切にしている。

「オフィスで仕事をしていた時のように毎日顔を合わせることが出来ないのも、実際に会う機会を大切にしています。やはり実際に合ってコミュニケーションをとることはすごく大切ですし、なくてはならないものだと思っています。」と語る。

も、働く環境を変えて気分転換することで新しい発想やアイデアが生まれると思っています。」と嬉しそうに語る。

小杉さんが語るようにコロナ禍といわれるようになってから、ワーケーションやコワーキングスペースといったワードをよく耳にするようになった。南魚沼でもトライアル事業として民宿を利用したワーケーションの推進を行っている。

また全国的に需要が増えているコワーキングスペースも市内にオープンした。その中の一つが六日町地区にあるOFFICE 9btである。

落ち着いた空間に仕事の疲れを癒す植物を配置しており、椅子、ソファ、テーブルの全てが洗練されたコワーキングスペースを兼ねるレンタルオフィスだ。このコワーキングスペースを週に1〜2回程度、打ち合わせや特に仕事に集中したい時などに利用するという小杉さん。

コロナ禍によって生まれた新しい働き方が増えてきていると同時に、南魚沼にもその環境が整いつつある。

南魚沼を多くの人に 知ってもらいたい

「経験を積み、自分自身の企画力、マーケティングスキルを高めていきたいです。そして南魚沼の魅力を一人でも多くの人に知ってもらい、観光で訪れたい人、仕事をしたい人をどんどん増やしていきたいです。そうやって大好きな南魚沼に少しずつ恩返しをしていきたいと思っています。」と小杉さんは今後の目標を語る。

南魚沼にしながら首都圏の会社に所属するということは難しいものでしたが、今は大好きな南魚沼で自分のやりたい仕事ができます。自分のやりたい仕事は南魚沼にないからといって南魚沼で生活することをあきらめなくてもいいんです。そして首都圏よりも生活コストが掛からない環境で首都圏で働く人と同等の収入を得ることができる時代です。

また、南魚沼にUターンして思ったことの一つに南魚沼にも魅力的な企業がたくさんあるということです。テレワーカーとして南魚沼で働く人が南魚沼の企業と首都圏の企業の懸け橋となり、地元の企業とテレワーカーが協力して南魚沼を盛り上げていければ最高だと思っています。」と語る。

この話を聞き、今後、テレワーカーが南魚沼をあらゆる面で活性化させる起爆剤になるのではと感じた。

五十沢温泉 ゆもとかん

南魚沼市五十沢地域にある宿泊施設。温泉は、天然源泉かけ流しとなっており、岩風呂はその景観と開放感から多くの観光客に人気。

- 〒949-6775 新潟県南魚沼市宮 17-4
- TEL / 025-774-2876
- HP / <https://www.ikazawaonsen.com/>



南魚沼でもやりたい仕事に チャレンジできる時代

職場での人間関係は少なくなったようにだが、身近な人達との交流は深まっているようだ。

「南魚沼には家族も友達も尊敬できる人もたくさんいる。そんな人達の近くでやりたい仕事ができるのは幸せなことです。」という小杉さん。プライベートでは仲の良い友人と南魚沼ならではの自然や温泉を楽しんでいる。

「プライベートは外で過ごすことが多いです。夏は気軽に河原でバーベキューができるし、温泉にもよくいきます。南魚沼には泉質も雰囲気も様々で魅力的な温泉がたくさんあり、仕事終わりや友達と遊ぶときによく利用しています。特におすすめののが、五十沢温泉ゆもとかんです。泉質が素晴らしい、肌も身体も元氣になります。岩風呂も最高で晴れた日に山々を見ながらゆっくりと温泉につかると癒されます。若女将とも仲良くさせてもらっていて、どうしたらより南魚沼の魅力が伝わるかなど話し合い、楽しい時間を過ごしています。」と語る。

また、南魚沼の冬といえばウィンタースポーツが盛んだ。南魚沼のスキー場は町場からの距離が近いということが特徴だ。車で20分程度走ればどこかのスキー場に行ける。小杉さんも

午前に軽く滑ってから午後仕事をするということを実践している。このような生活ができるのも南魚沼ならではの魅力だ。

成人式などのイベントで南魚沼出身の若者に「将来的にUターンしたいか？」と質問すると「つきたい職業がないからUターンしたくない」、「首都圏と比べて賃金が少ないから給料が多い都会で働きたい」といった回答をよくみる。確かに首都圏と比べると収入、所得は低く、就職先の選択肢が限られるのも事実だ。

小杉さんも以前は同様の意見を持っていた。「生まれ育った南魚沼に恩返しをしたいという気持ちです」と持っていましたし、家族や友達の近くで暮らしたい、南魚沼の自然豊かな環境で働きたいという思いがあったので、経験を積んだらいずれは南魚沼に戻ろうと思っていた。しかし、私が積んできた経験を活かすことが出来る会社があるのかということ、収入面が心配でした。」と語る。だが、現在はその考えが変わったようだ。

「コロナ禍により、テレワークが浸透し、導入している会社はたくさんあるので、今後この働き方はスタンダードなものになると思っています。以前は、



1 移動販売の未来と可能性について語る木村さん。 2 注文を受けてからピザ窯で1枚ずつ丁寧に焼くピザは絶品。 3 地域の方々に愛されりピーターも多い。 4 季節や旬に合わせて頻繁にメニューを変えている。 5 木村さんのこだわりが詰まっているお洒落なキッチンカー。 6 手際良くピザ生地を伸ばしていく木村さん。 7 南米のスパイシーなグリーンソースを使ったチミチュリピザはニンニクたっぷりで大人の味。

木村 8月にナイトマーケットを開催しましたが、今後も移動販売をはじめ、出店したいけど試せる場所がないといった悩みを持つ雑貨屋さんやアーティストの人達が気兼ねなく出店できる場を醸成していきたいです。そしていずれば南魚沼の文化として定着させたいですね。12月にもクリスマスマーケットと題した移動販売店舗の複合出店イベントを開催する予定なので多くの出店者、お客さんに参加して楽しんでもらいたいです。

—— 今後の目標を教えてください。

木村 当初は移動販売店舗の複合出店文化が醸成されているアメリカのポートランドへの視察を考えていたのですが、コロナ禍の影響もあり、行くことができませんでした。その代わりにナイトマーケットと題した、移動販売店舗の複合出店イベントの開催に利用しました。このイベントでは飲食の移動販売店舗の他にもクラフトワーク、アーティストなど様々な分野の人に出演してもらいました。台風の影響もあり、思った通りにいかない部分もありましたが、出店者、お客さんともに楽しんでくれたと思います。

—— 南魚沼市チャレンジ支援補助金をどのように活用しましたか？

木村 当初は移動販売店舗の複合出店文化が醸成されているアメリカのポートランドへの視察を考えていたのですが、コロナ禍の影響もあり、行くことができませんでした。その代わりにナイトマーケットと題した、移動販売店舗の複合出店イベントの開催に利用しました。このイベントでは飲食の移動販売店舗の他にもクラフトワーク、アーティストなど様々な分野の人に出演してもらいました。台風の影響もあり、思った通りにいかない部分もありましたが、出店者、お客さんともに楽しんでくれたと思います。



WAYS 代表
木村 真悟さん Shingo Kimura / 35歳

南魚沼市出身。北海道、沖縄での生活を経て上ター。現在はピザの移動販売業 WAYS を営み、南魚沼に移動販売店舗の複合出店文化を根付かせるため活動している。



Challenge
New Business
in
Minamiuonuma city

南魚沼で新たな事業に挑戦

南魚沼市では令和2年度より南魚沼市チャレンジ支援事業補助金を開始しました。この事業は、南魚沼出身である(株)アルプス技研創業者の松井利夫さんからの寄付による松井人材育成基金を活用したイノベーション人材育成事業です。令和2年度は5つの新事業が採択されました。今回はこの補助金を活用し、新たな事業にチャレンジする2名の採択者を紹介します。

01 移動販売店舗の複合型出店文化醸成にチャレンジ

ピザの移動販売 WAYS を営む木村真悟さん。地方都市での移動販売業に可能性を感じ、南魚沼に移動販売店舗の複合出店文化を根付かせることを目指しています。

—— WAYS を始めたきっかけ、経緯を教えてください。

木村 真悟さん(以下敬称略) 日本中の色々なところを見てみたくて、10代後半から20代前半にかけて、北海道、沖縄、静岡、神奈川などで生活してきました。主に洋服店や飲食店などのアルバイト生活でしたが、その経験から対面での移動販売に興味を持つようになりました。24歳の時に南魚沼にUターンし、農業に従事していましたが、その時に大きな病気を経験したことをきっかけに、後悔のないように生きたいと思い、3年前に移動販売業を始めました。

—— 移動販売を行う上での心構えを教えてください。

木村 全ての飲食店に言えることだと思いますが、どれだけピーターをつくれるかが重要だと思っています。季節の食材、地元の食材を使うなどの工夫をし、頻繁にメニューを変え、お客さんを飽きさせないようにしています。いまでは市内、市外問わず出店するたびに来てくれるお客さん多いのでとても励みになっていますね。

—— 南魚沼市チャレンジ支援事業補助金を利用しようと思ったきっかけを教えてください。

木村 コロナ禍以前は首都圏などでのイベントに参加していましたが、軒並みイベントがなくなり、出店場所の確保に苦労しました。現在は市内、市外のスーパーの駐車場などを借りて



1 現在 7g の稚亀。温泉を利用すると1年で100 倍の700gに育つという。 2 真剣な眼差しでスッポンの育成状況をチェックする井口さん。 3,4 温泉を利用した養殖場。 5 元気に育っているスッポン。 6 事業について熱く語る井口さん。 7 酒粕を餌に混ぜることで南魚沼ならではのブランド化を目指す。 8 温泉の利用で水温を高く保つことができる。

井口 現在の養殖数は200匹ですが、いずれは1000匹の養殖を目指していきたいです。

あとは南魚沼ならではのスッポン養殖ですね。水産物は餌によって味が変わるといわれています。地域資源を活かすため、現在、青木酒造(株)さん、八海醸造(株)さんから酒粕をいただき、スッポンの餌に混ぜて南魚沼ならではのスッポン養殖にチャレンジしています。地域資源とマッチしたブランド化付加価値を付けたスッポンを出荷したいですね。

ゆくゆくは私の事業が南魚沼を活性化する一助になればと思いますし、チャレンジ支援補助金など市やまわりの人の支援を受けて南魚沼の地域性を活かした事業にチャレンジする人が増えてほしいと思っています。

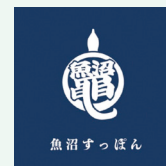
—— 今後の目標を教えてください。

井口 既にスッポン養殖を行っている事業者への視察に使用しました。大学で養殖の研究をしていたため、ある程度の知識は持っていました。スッポンの買い付け方法や飼育方法を実際に事業として運営している人の話を聞いたことは貴重な体験でした。また、視察先の人とのコミュニケーションもできたので、この補助金を有効に活用することが出来たと思っています。

—— 南魚沼市チャレンジ支援補助金をどのように活用しましたか？

井口 既にスッポン養殖を行っている事業者への視察に使用しました。大学で養殖の研究をしていたため、ある程度の知識は持っていました。スッポンの買い付け方法や飼育方法を実際に事業として運営している人の話を聞いたことは貴重な体験でした。また、視察先の人とのコミュニケーションもできたので、この補助金を有効に活用することが出来たと思っています。

沼で起業する魅力ですね。



魚沼すっぽん 代表

井口 陸弥さん Rikuya Iguti / 27歳

南魚沼市出身。北海道での学生生活、首都圏での就職を経てUターン。現在は温泉を利用したスッポン養殖にチャレンジしている。



CASE
02

温泉を利用したスッポン養殖にチャレンジ

温泉を利用した加温養殖方法によるスッポンの養殖、販売にチャレンジしている井口陸弥さん。

餌に南魚沼の特産品を配合することで地域資源とマッチしたブランド化を目指しています。

—— スッポン養殖を始めたきっかけ、経緯を教えてください。

井口 陸弥さん(以下敬称略) 北海道大学でアワビ養殖の研究をしていて、いずれは自分も事業として養殖に関わりたいと思っていました。大学卒業後、首都圏の会社に就職しましたが、その想いは持ち続けていました。

私の祖父が持っていた土地に温泉が掘削しており、これを上手く利用すれば養殖の事業が展開できるのではと思うようになり、様々な水産物の養殖を検討しました。

スッポンは初期投資もサーモンやフグの養殖と比べて安く、ライバルになる企業も少ないこと、温泉のアドバンテージを活かすことで、通常出荷に3年かかるところを、1年で出荷できることなどの優位性がわかり、スッポンを養殖することになりました。また出荷する時の単価も他の水産物と比べ高いのも魅力です。

—— 南魚沼で新たな事業を展開する魅力は何ですか？

井口 首都圏での起業だと事務所の開設や初期投資など、地方で起業するよりも多くの負担が必要となります。また、地方に比べ起業にチャレンジする人も多く、よほど話題になることをしなければ埋もれてしまいます。

南魚沼では新しいことを始める人は目立ちますし、話題にもなります。市からのバックアップも充実しており、困ったことがあれば周りの人が相談に乗ってくれるということも南魚



The geography
of minamiuonuma city

南魚沼市について

【特徴】

南魚沼市は新潟県南部の魚沼盆地に位置し、太平洋と日本海を結ぶ交通の要衝となっています。関越自動車道や上越新幹線などの交通アクセスは大変便利で、交通および物流の中継地としての役割を果たしています。グリーン・シーズンには日本百名山「巻機山」や霊峰「八海山」などの登山客、冬季には、スキー場が集積する一大スノー・リゾート地として多くの観光客が訪れています。教育機関としては国際大学、北里大学保健衛生専門学院が立地されています。平成 27 年 6 月に開院した「魚沼基幹病院」を中心に、地域医療の高度化が進んでいるほか、保健・医療・福祉・子育て支援も充実しています。

【面積】584.55km²

東京23区(621km²)の約94%にあたる広さです。

【人口】54,543人

※令和3年11月末現在(住民基本台帳人口)

【年間平均気温】南魚沼市 11.9℃ (8月 25.5℃ / 2月 -0.9℃)

東京 16.3℃ (8月 26.4℃ / 2月 5.7℃)

大阪 16.9℃ (8月 28.8℃ / 2月 6.3℃)

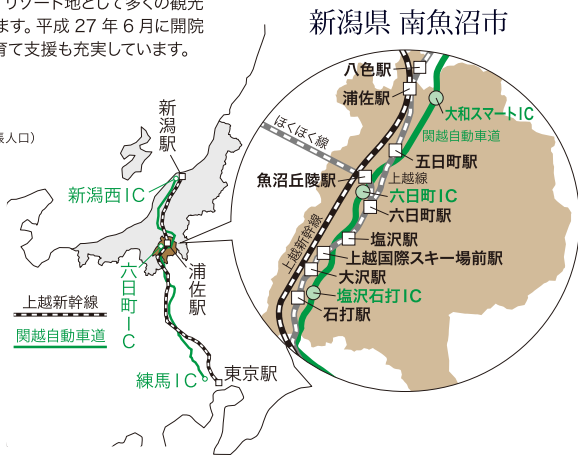
【位置】北緯 36度53分 - 37度12分

東経 138度45分 - 139度05分

【保育・教育機関】保育園・認定こども園:27 / 小学校:17 (令和7年度より16)

中学校:4 / 総合支援学校:1 / 高等学校:4

専門学校:1 / 大学院大学:1



歳時記

Compendium of seasonal words

春

浦佐毘沙門堂裸押合大祭

(3月第1土曜日)

※2020年から日程変更となりました。

日本三大奇祭の一つ。約1200年の歴史があり、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

夏

南魚沼市兼続公祭り

(7月17日～19日)

大前神社 翁式三番

(8月14日)

平安時代の三番猿楽の古い形を残す民俗芸能として全国的にも珍しく、県の文化財に指定されています。

秋

若宮八幡宮太々神楽

(9月14日・15日)

32の神楽面を使って総数26座の神楽を奉納する市の指定文化財です。

冬

八海山大火渡祭

(10月20日)

南魚沼市雪まつり

(2月第2土曜日・日曜日)

しおざわ雪譜まつり

(2月第3土曜日)

and more...

主要交通アクセス

大和スマートIC ※ETC車専用
・東京練馬IC間 198.3km(約2時間20分)
・新潟西IC間 99km(約1時間5分)
・車長12m(大型車)まで

六日町IC
・東京練馬IC間 187km(約2時間10分)
・新潟西IC間 111km(約1時間15分)
＜高速バス停留所:東京池袋間 約3時間17分＞

塩沢石打IC
・東京練馬IC間 175.5km(約2時間)
・新潟西IC間 122km(約1時間25分)

浦佐駅
・東京駅から 約1時間30分
・新潟駅から 約40分

越後湯沢駅
・東京駅から 約1時間15分
・新潟駅から 約45分

石打駅
大沢駅
上越国際スキー場前駅
塩沢駅
六日町駅
五日町駅
浦佐駅
八色駅

美佐島駅
魚沼丘陵駅
六日町駅

TOPIC

Reader Questionnaire

LIFE in (Vol.15) 読者アンケート

LIFE inではUIターンし、リモートワークを営む方、
地域資源を活かした事業を展開する方の
魅力あふれるライフスタイルを紹介しています。
今回は読者の皆様のご意見を今後のLIFE inに反映させるため、
アンケートを実施します。

ご回答いただいた方のうち、抽選で40名様に
南魚沼市の特産品の詰め合わせ(2,000円相当)を送付させていただきます。



下記QRコードよりアンケートフォームにアクセスし、ご回答ください。



締切 1月28日(金)23時55分

※当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

■『LIFE in ～ライフイン～』についてのお問合わせ

〒949-6696 新潟県南魚沼市六日町180-1 / 南魚沼市役所 総務部U&Iときめき課 / TEL.025-773-6659

これから南魚沼市への
定住を考えている方へ

南魚沼市の取組み

お問い合わせ

南魚沼市役所 総務部U&Iときめき課 TEL.025-773-6659
南魚沼市公式ウェブサイト <http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp>
全国移住ナビ <https://www.iju-navi.soumu.go.jp/>

住む 地域の資源を活かして

【わくわく地方生活実現政策パッケージ】

- 南魚沼市にU・Iターンし、次の条件のいずれにも当てはまる方に、1世帯100万円(単身者60万円)を補助。
 - ①東京23区内に在住または東京23区内に在勤で東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県に在住の方(5年以上)。
 - ②新潟県が指定する企業(原則、県内企業)に就職、または起業する方。 ※他にも細かい条件がありますので、ご相談ください。

【南魚沼市移住希望者交通費補助金】

- 県外在住で南魚沼市への移住を希望する方が、南魚沼市が行う現地体験ツアーに参加する場合、南魚沼市までの移動にかかる交通費を補助。
- 上限補助金額1万円。

【南魚沼市空き家バンク制度】

- <http://www.minamiuonuma-city.jp/akiya/>
- 市内に使用していない住宅を所有している人から提供された空き家の情報をウェブサイトで公表し、市内での暮らしを希望する人に紹介するシステムです。

【U・Iターン促進住宅支援事業補助金】

- 県外からの転入で、県内企業などに就業した方へ、賃貸住宅家賃と契約初期費用を補助。●月額家賃の1/2を補助。上限補助金額1万円。

【みんな住マイル住宅改修補助金】

- 住宅等のリフォームで50万以上の支出があった場合、10万円(子育て世帯:中学生以下の子どもがいる世帯は15万円)を補助。

【南魚沼の木で家づくり事業補助】

- 住宅建築時の南魚沼産木材購入費を補助。
- 購入費の1/3を補助。補助額10万円以上が対象で、上限補助金額50万円。

【木質バイオマスストーブ等設置補助金事業】

- 温暖化防止や循環型社会の形成のため、バイオマス(再生可能な生物由来の有機性資源で化石資源をのぞいたもの)資源の利活用を図ります。
- ペレットストーブ等導入補助。民有林の保育を支援し、木材の出荷から消費までのサイクルをつくります。
- 購入費の1/4を補助。上限補助金額8万円。

働く 起業や働く環境づくりを応援

就業

【農業次世代人材投資事業(経営開始型)】

(旧青年就農給付金)

- 原則50歳未満の新規就農者に年間150万円/人を補助。 ●最長5年間。

【農業農村体験】

- 「グリーン・ツーリズム推進協議会」を設置し、農業体験旅行を実施しています。田植え、溪流川遊び、秋の収穫、雪国体験などを通して四季折々の南魚沼を体験できます。

起業

【南魚沼市チャレンジ支援事業】

- 南魚沼市で新たなビジネスにチャレンジする個人・法人に対し、国内外の先進地視察等に必要経費を補助。
- 上限補助金額100万円

【創業支援補助金】

- 対象者:市内で新たに創業を行う方。
- 創業事業費の1/2を補助。上限100万円。

【創業支援セミナー】

- 対象者:市内で創業を希望している方、または創業後まもない方。
- 創業に関する基礎知識を無料で学べるセミナーです。

【個別創業相談】

- 対象者:市内で創業を希望している方、または創業後まもない方。
- 創業の悩みに専門家が無料で相談に応じます。

介護人材確保緊急5か年事業(新規)

【新規・移住定住就職支援金】

- 対象者:市内に住所を有し、市内の介護サービス事業所に介護職員として就職し、継続して1年以上の勤務が見込まれる方。

【カムバック支援金】

- 対象者:市内の介護サービス事業所に介護職員として就職し、継続して1年以上の勤務が見込まれ、就職した日前3か月以内に魚沼圏域の介護施設に在籍していない方。

- 対象資格:介護支援専門員、介護福祉士、看護師、准看護師のいずれかの資格を有する方。または介護福祉士実務者研修もしくは介護職員初任者研修の課程を修了している方。

【ケアマネエール支援金】

- 対象者:市内の居宅介護支援事業所に過去1年以上継続して勤務している介護支援専門員。

【ケアマネスタートお祝い金】

- 対象者:令和3年10月予定の「介護支援専門員実務研修受講試験」に合格後、同年度内に開催される「介護支援専門員実務研修」を受講、修了し「介護支援専門員証」の交付を受け、交付の日から3か月以内に市内の居宅介護支援事業所に就職し、居宅介護支援業務を行う方。

共通事項 ●支援金:20万円 ※詳細についてはお問合せください。

支援 縁 民間で組織された安心の移住・定住相談体制を整えています。

【一般社団法人 南魚沼市まちづくり推進機構】

- TEL:025-778-0511 Eメール:ijyu.teijyu@mmdo-machi.org <http://mmdo-machi.org/>
- 若者の定住とシニアや若者の移住を目指して付加価値の高い仕事で南魚沼市から生まれることを促進する地域再生推進法人です。南魚沼に住む人、住もうと思う人の、未来のごとづくりと豊かな暮らしを応援します。

育てる

親子のふれあい・保育

【出生お祝い金】

- 南魚沼市に誕生した子どもに出生のお祝い金を支給。詳細についてはお問合せください。
- 補助金額:1人目、12万円・2人目、15万円・3人以降、20万円
- ※令和3年度から5年間限定の事業です。

【ほのぼの広場】

- 0歳から小学校入学前の親子が自由に遊んだり、情報交換ができる場です。市内3会場で開設しています。
- ・子育ての駅「ほのぼの」:(水曜定休) 開設時間 9時30分～15時30分
- ※子育ての駅「ほのぼの」と併設されている「ふれ愛広場」は小学校3年生までが利用可能です。
- ・大和市民センター会場:開設日 毎週 月・水・木 9時30分～15時30分
- ・塩沢市民センター会場:開設日 毎週 火・水・金 9時30分～15時30分

【にこここ広場】

- 入園前のお子さんとお家の方を対象にした、保育園で行う遊びの広場。どの地域の保育園の「にこここ広場」にも参加できます。

【心豊かな子育て教室「そだち学級」「親子サロン」】

- 入園前の親子の遊びの場、仲間作りの場。
- 六日町地域の4地区、大和地域、塩沢地域でそれぞれ年間3回から4回開催。

【ファミリーサポートセンター】

- 子育ての手助けをして欲しい人に保育サービスを提供する会員制の保育事業です。
- ※生後6か月から12歳までの子どもが対象です。

【読書のつどい、絵本のへやなど】

- 入園前の乳幼児と保護者を対象に、毎週水曜日(10時30分～11時30分)、南魚沼市図書館で絵本の読み聞かせなどを開催しています。

【待機児童ゼロの維持】

- 保育園の待機児童0人を続け、希望するすべての子どもへ保育を実践しています。

街づくり 変わった視点でまちづくり

【南魚沼ざりざいDE愛隊】 <https://kirizaidon.com/>

- 南魚沼地方に昔から伝わる郷土料理「きりざい」を基にしたご当地グルメ「南魚沼ざりざい丼」を通じて、地域全体の魅力を伝えています。

【南魚沼、本気丼】 <https://majidon.jp/>

- 南魚沼産コシヒカリを、市内外の人にお腹いっぱい味わってほしいという企画です。南魚沼市内の飲食店を中心とし、ごはんと具をそれぞれの尺度で大盛にしたイチオシ丼ぶりを提供しています。

【女子力観光プロモーションチーム】 <http://joshi-ryoku.jp>

- 女性の視点から全く新しい切り口で南魚沼市の観光を考え、イベント企画や観光関連事業への提案を行うことを目的とした、年齢も職業も様々な一般ボランティアで結成されたチームです。

【美女旅プロジェクト】 <http://www.bijotabi.jp>

- 地元に住み、地元を愛する普通の女の子が生まれ育った地元を紹介する観光パンフレット。

【南魚沼サークルナビ サークる♪】 <https://ja-jp.facebook.com/circle.minamiuonuma/>

- 市内で活動するサークルから参加・登録してもらい、SNSでの活動紹介や入会募集などを支援し、入会したい人のニーズに応えたり、サークル同士の横のつながりを生み出し、市内に住む若者の定住を促進しています。

【南魚沼市移住推進協議会・移住者ネットワーク】 TEL:080-5453-9956 Eメール:mu.ijunet@gmail.com <https://www.minamiuonuma-iju.com/>

- 南魚沼市にU・I・Jターン者を中心に民間で組織された団体で、研修や交流会を通じ移住しやすい環境の整備と移住者の相談、ケア、フォローアップを行える組織構築を目的にした活動に取り組んでいます。
- ・定期的にイベントや交流会を開催します。 ・移住推進協議会の取り組みやイベントなどの情報をメールでお知らせします。 ・移住についての相談や支援を行います。

【一般社団法人 愛 南魚沼みらい塾】 Eメール:ai.m.mirai@gmail.com

- 街のあらゆる場所を「教室」にして、南魚沼市全体を「まなび」の場に“見立てる”ことによって、街のヒト・モノ・コト・トキ・エンをつなげていく。そして「教える」として「教わる」ことが、大人、子供に関係なく自由に行き来できる、いわば、新しい南魚沼版「共育」をコンセプトにした一般社団法人です。常に新しい“何か”の出会いをつくり、“何か”をはじめようとする“すべての人たち”の「場(=プラットフォーム)」となる活動をしています。